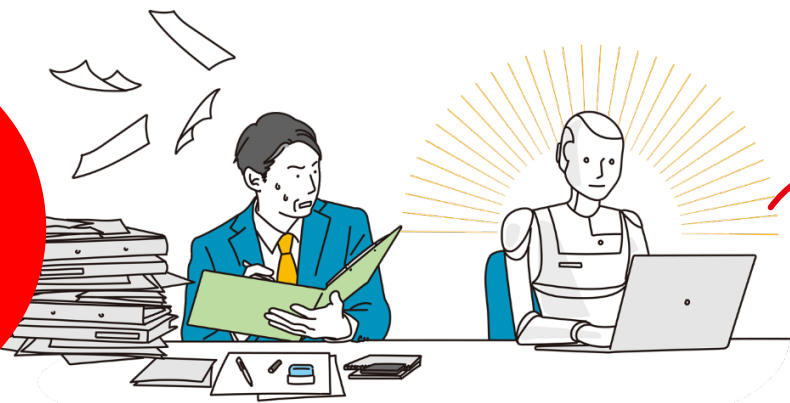


ご要望にお応えして

## 第2弾 アンコール 開催



Point!

前回学習会(第1弾)にご参加いただいたみなさまからの声は裏面をご覧ください!

### アカデミア看護研究会 第36回 学習会

# いまさら聞けない IT関連の【こと】

コロナ下において改めて、医療介護福祉界もDX(デジタルトランスフォーメーション)が急速に進んでいます。職場で仕事専用に配布されたパソコンで仕事を行ってきた環境から、iPhoneのような端末のアプリケーションで患者様のデータを確認できる時代になりました。さまざまな情報やアプリが提供するサービスを仕事に活かすために必要な情報活用(IT)技術について、仕組みや利用の裏に潜むリスク、身につけるべきリテラシーについて解説します。

開催日時

2023年 8月 4日 金 18:00▶19:30

参加費

無料

対象

- 看護職をはじめとする医療にかかわる方々
- 学生や休職中の方々も参加OK
- 有資格者でなくてもOK
- 医師・歯科医、介護・福祉関係の方もご参加ください

お申込み

アカデミア看護研究会に会員登録(無料)のうえ、お申込みください。事務局より視聴用URLをご連絡いたします。

講師

シスコシステムズ合同会社  
インダストリーソリューションズグループ所属

## 若村友行氏

1975年愛媛県生まれ。1998年に大学を卒業。IT商社勤務後の2005年シスコシステムズ合同会社入社。医療機関向けネットワークの営業職として、大規模病院から中小規模病院のさまざまな院内のIT化をサポート。直近では、iPhoneを利用した内線電話&ビデオ通話システムや、サイバー攻撃に対抗する医療機関向けセキュリティ対策の講師などを務める。

### アカデミア看護研究会とは？

看護職をはじめ医療にかかわる皆様が、就業継続をしながら学び続ける機会を提供します。研修会、講演会、ワークショップ、研究討論などを通し、情報交換や会員相互の親睦を図ります。

### ●アカデミア看護研究会の活動のご紹介

定例会：隔月 第1金曜日 18:00～19:30 隔月①学習会、②支援会を交互に開催いたします。  
学習会：労務管理、人事管理、人事考課、労務環境と身体との関係、医療現場のICT化の最先端情報、医療現場のAI化の最先端情報、海外事情の他、リベラルアーツの学習や本の読み方など、多彩な講師陣を予定しております。

連絡先

アカデミア看護研究会会長  
中島美津子 (m-nakashima@thcu.ac.jp)

会員登録係

看護職の採用と定着を考える会事務局  
(info@rsn-kango.com)

●会員登録のご案内

<http://ns-aca.com/join/>

会員登録が  
まだの方は  
こちらから



●第36回学習会の詳細・お申込み

<http://ns-aca.com/学習会/20230804/>



アカデミア看護研究会

検索



●事務局よりお願い● ※info@rsn-kango.com からの受信の許可をお願いいたします。  
※メールが届かない場合、迷惑メールフォルダに入っていることがありますのでご確認のほどお願いいたします。

# 「受講してよかった！」第1弾に参加された方から たくさんのうれしいお声をいただきました！

## 次回も楽しみにしています！

open roamingが医療機関にも導入されると、利便性が高まると感じました。とてもわかりやすい内容に噛み砕いて説明してくださり、ありがとうございました。次回も楽しみにしています。

## タイムリーな話で勉強になりました！

とてもタイムリーな話で勉強になりましたが、もともと苦手な分野の話であり、なんとなくわかるかな？という感じで、まだまだ自分の理解力が追いつくことができない状態を痛感しました。

## IT関連が苦手で勉強させてもらいました。

本日は、学習会に参加させて頂きありがとうございました。自身がIT関連が苦手で、色々学習したいと思い参加させて頂きました。講師の方はとても分かり易く、基本的なところから今後のIT社会の展望まで教えて頂きありがとうございました。2回目も是非参加したいと思います。

## 脳みそをフル回転させながら聴講しました！

普段聞きなれている言葉のその本当の意味が分かったり、普段によくわからずに使っている言葉の意味が分かったり、カタカナのオンパレードでしたが、そのカタカナや略語もすべて、もともとの単語を言うてくださったので、単語の意味が分かれば、略語の意味が伝わり、とても難しい内容を、すごくわかりやすくお話してくださったので、とにかく、脳みそが疲れたけれども、心地よい疲れでした。久しぶりに、脳みそをフル回転させながら聴講しました。その中で、改めて、日本はビジネスアジリティが低いんだ、ということがヒシヒシと伝わりました。結局、今までで、別にいいんじゃないの？という気持ちがあるところにあり、一言でいえば「めんどくさ！」という思いが心のどこかにあるから、院長や看護部長や施設管理者が変えられないのではないかと思います。たとえ、面倒でなかったとしても、本当に患者のため、ということを考えたら、この先々のことを考えると、すでに今後は、ITリテラシーのあるX世代、Y世代、Z世代が高齢者になっていくわけですから、今の高齢者のことばかり議論しているのは、結局、その議論する人たちが自分のことしか考えていないように感じました。今の若者が高齢者になることを考えれば、変えなければいけないことは必至であり、地球規模でIT革命中なのに、写真という技術があるのに、魂を抜かれるのでは、などという迷信で、写真を敬遠した明治時代と同じ感覚が、管理職にあるのだと思います。次回もとても楽しみにしています。そして次回まで勉強したうえで、わからないことをまとめ質問したいと思います。ありがとうございました。